

2023年4月4日

株式会社シティインデックスイレブンス

代表取締役 福島 啓修 様

コスモエネルギーホールディングス株式会社

代表取締役社長 山田 茂



拝啓 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

2023年3月29日付で送付いただきました書簡（以下「本書簡」といいます。）の貴社質問事項につきまして、下記の通りご回答申し上げます。

#### 記

- ① 既にご説明のとおり、2023年1月11日に公表した大規模買付行為等に関する対応方針（以下「本対応方針」といいます。）は、貴社及び貴社の共同保有者（以下「貴社ら」といいます。）が当社に対し、20%以上の大規模買付行為等を行う蓋然性が相応に高い状況にあり、買集めの意図や目的、今後の貴社らの当社株式の取得予定数、当社への経営関与の有無などの情報について、真摯に情報共有や説明がなされることが期待できない状況の中、当社の中長期的な企業価値及び株主の皆様との共同の利益の毀損を防ぐため、導入を行わざるを得なかった経緯がございます。その点、貴社らから、定時株主総会後も含め、少なくとも一定期間、買増しを行わない旨を書面によって誓約いただき、当社の持続的かつ中長期的な企業価値向上に向けた建設的な対話を行うことができる環境が担保された場合にはそれを条件として、本対応方針の継続要否（株主総会において株主の皆様との意思確認をすることも含みます。）について、必要性を含めて再検討することは考え得るところでございます。
- ② 東京証券取引所による、資本コストや株価を意識した経営の促進に向けた取り組みの要請につきましては当社としても認識しており、2023年3月23日に公表した「第7次連結中期経営計画（2023年度～2025年度）」（以下「本中計」といいます。）を着実に推進することで持続的かつ中長期的な企業価値向上を図ってまいります。本中計は、機関投資家株主・アナリストの皆様からいただいたご指摘・ご意見も踏まえ策定しており、本中計公表後、投資家から好意的なフィードバックもいただいております。また、本中計公表後の株価の反応をみましても、投資家の皆様から一定の評価はいただけたものと理解しておりますが、本中計についてはその着実な実行こそが肝要というのが大半の機関投資家株主の受け止めではないかと考えており、当社といたしましては、短期的な株価上昇ではなく、本中計の推進を通じた中長期的な企業価値の最大化を目指してまいります。

- ③ 再生エネルギー事業のスピンオフについては、本中計で掲げている当社の企業価値向上に向けた諸施策と矛盾するものであり、本年 6 月開催予定の当社定時株主総会において、当該議案を会社提案として上程することは考えておりません。

なお、本書簡において、守秘義務契約の締結に関する言及がございますが、当社としては、特定の株主との間でそのような契約を締結することについて、一般株主との平等性の観点から慎重に検討する必要があると考えております。他方、貴社らから更なる買増しを行わない旨を書面によって誓約いただいたうえで、これまでの面談において貴社ら及び村上世彰氏が行ってきた、威迫的な発言・対応をしないことを確認できた場合には、貴社らのお申し出の趣旨によっては、必要に応じて守秘義務契約を締結のうえ、貴社らとの間でより踏み込んだ対話を行うことは必ずしも否定するものではありません。ただし、洋上風力発電への経営資源投下を頭から否定されるようなご主張の繰り返しになるのであれば、いずれにしても、守秘義務契約を締結のうえ、貴社らとの間でより踏み込んだ対話を行うことについて、社外取締役を含めた当社取締役の賛同を得られない可能性が高いのではないかと考えております。

敬具